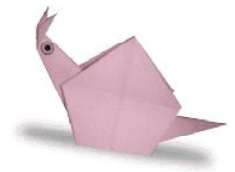


生物多样性 ^{ひょうご} Hyogo 市民宣言

この市民宣言は、国際生物多様性年である今年、
この分野で活動してきた市民の手で作成されました。



「生物多样性ってわかりにくい」
「生物多样性って難しそう」



そんな声をよく耳にします。
それでも、「大事なことなんだ」ということはみんな感じていると思います。

日本海から瀬戸内海・太平洋まで多様な環境のある兵庫、
森・川・海・ため池・里地・里山など、生き物の宝庫である兵庫、
それらから多くの恵みを受けている兵庫に住むわたしたち。

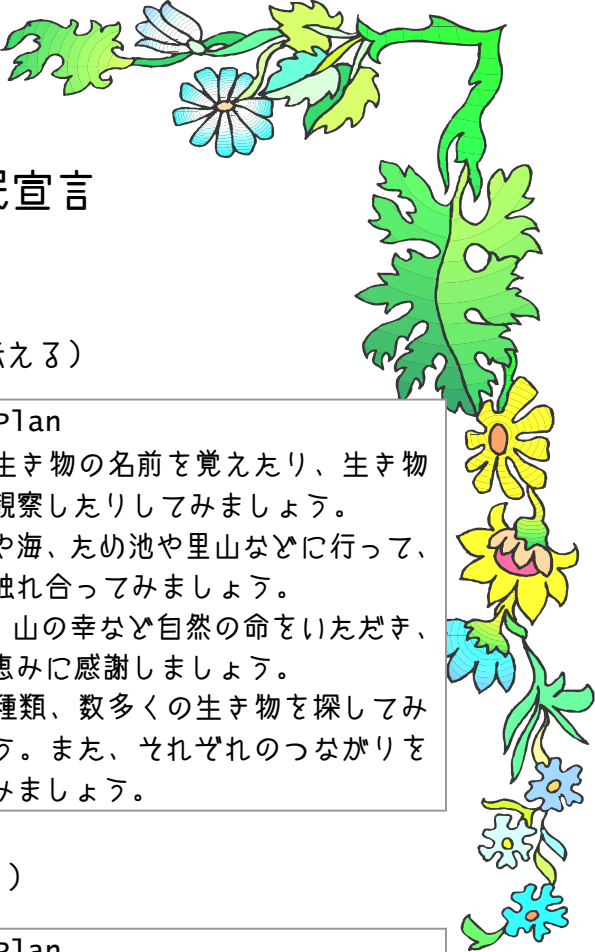
この兵庫の豊かな生物多样性を守るためのメッセージを伝えたい、行動を起こしてほしい、
そんな思いをもって、560万人の兵庫県民、
そして70億人の世界市民に向けて作った、
私たちの行動指針の提案です。



生物多样性って何やろう？
生物多样性を守るってどういうことなん？
何かしたいな……。何かせなあかん……。
そんなことを思ったら、手にとってみてください。
そして身近な人、大切な人にも教えてあげてください。



この市民宣言は、COP10 に向けて (財) ひょうご環境創造協会が開催した「生物多様性連携講座・COP10 準備ワーク」(2010.8.3, 8.24 に開催) に参加したメンバー(市民、団体、学校、企業、行政の方々)で作成したものです。



生物多様性 ひょうご Hyogo 市民宣言

私たちは未来に向けて・・・

1 県民560万の心を生物多様性につなげます（知る・伝える）

日本海から瀬戸内海・太平洋まで、森・川・海・ため池・里地・里山など、自然豊かな兵庫。震災や水害から自然の脅威と畏敬を学んだ兵庫。でも、自然とのつきあい方、自然のありがたさを私たちは忘れてしまったかもしれません。

色んな世代／色んな人がそれぞれ「生物多様性ってこれだ!」と、ピンとくるように、あらゆる人々の心の中に「生物多様性って命のつながりなんだ」という意識を育てていきます。

Action Plan

- ①身近な生き物の名前を覚えたり、生き物の姿を観察したりしてみましょう。
- ②森や川や海、ため池や里山などに行って、自然と触れ合ってみましょう。
- ③海の幸、山の幸など自然の命をいただき、自然の恵みに感謝しましょう。
- ④色々な種類、数多くの生き物を探してみましょう。また、それぞれのつながりを考えてみましょう。

2 生物多様性を受け継いで、次世代につなげます（育てる）

生き物に触れて楽しいと思う機会が大切です。多様な生きもの、多様な命、多様な生き方などに触れて、遊び、学び、考えることが出来る環境や仕組みづくりをすすめてみましょう。

地域の自然、野生の生き物が教えてくれることはたくさんあります。そんな素敵な体験ができる、自然環境をこれからも受け継ぎたい。

身近な自然に触れ合う機会を増やす教育を進めて、自然と戯れる子どもたち、次世代を担う子どもたちを育て育み、わたしたちの生物多様性を託していきます。

Action Plan

- ①自然体験や環境教育に取り組む学校や先生、地域の人々を応援しましょう。
- ②自然遊びを伝えたり、ガイドブックをつくったりしましょう。
- ③地域での環境イベントや、農業体験、都市と農村部の交流会などに参加してみましょう。
- ④学校給食や地域のイベントをとあして、命のつながりや食べ物の大切さを伝える食育を行いましょう。

3 生命(いのち)育む森・川・海・里・まち、その住人と命をつなげます（行動する）

森・川・海など豊かな恵みと命を与えてくれる自然を守り、育み、わたしたちのふる里、まちを再生していきましょう。

兵庫の住人と自然の関わりが育んだ智恵と文化を伝えたり、コウノトリからメダカまで、スナメリからイカナゴまで、兵庫の生きもの応援団を結成したり・・・。

色んなアイデアで、生き物の宝庫である兵庫、生態系のつながる兵庫で、その住人と生物多様性、自然との関わりを守っていきます。

Action Plan

- ①「コウノトリ育むお米」など、地域の生態系に配慮してつくられ、獲られたものを食べましょう。
 - ②兵庫の自然になじんで育つ、地域特性を活かしてつくられた物や身近で育てられた農作物を食べましょう。（地産地消）
 - ③里山の手入れや、植樹、川や海のゴミ拾いなどの保全活動に参加してみましょう。
 - ④自然の恵みや自然との関わりの中で発展してきた文化について、知っていること、調べたことなど、色んな知識や経験を交流していきましょう。
- 